



小学校 最優秀賞

「動物たちの命を大切に」

川中島小学校 5年 山岸 想 さん

僕は、四年生の秋に、両親からジャンガリアンハムスターを買ってもらいました。何かペットが欲しい、自分が世話をするなら小さくてかわいいハムスターが良い、と思っていたからです。きちんと世話をする、と両親と約束し、ペットショップへ行きました。店頭で、たくさんいるハムスターを見た時、とてもかわいくて、早く連れて帰りたいと胸が高鳴りました。

家に帰ってハムスターを手にとると、毛がふわふわで、改めてとてもかわいい、この小さい命は僕が守らないと、と思いました。ハムスターの名は、「ナッツ」にしました。僕は、ナッツにエサをあげたり、糞を掃除したり、水を交換したり、ケースをきれいに洗ったり、毎日親身になって世話をしました。ナッツはとても元気で、昼は綿の中でよく寝、夜は回し車で遊び、食欲も旺盛でした。大好きなひまわりの種などを頬袋の中に詰め込んでいき、パンパンになるところがとてもかわいくて、僕達家族はそんなナッツに毎日いやされました。

そんな毎日を送っていた僕達ですが、突然悲劇が起きました。その日の朝、母がナッツを触ろうとしたら、ナッツが思い切り母の指をかみました。いつもと様子の違うナッツに、皆とても驚きました。そして、夕方外出先から戻るとナッツはぐったりと横たわっていました。こんな事は初めてで、母が急いで動物病院へ電話をかけたけれど、どの病院も営業時間外でした。何の手当もすることができず、ナッツはどんどん弱っていき、とうとう死んでしまいました。あまりにも早すぎる急な死だったので、家族皆号泣し、しばらくは元の状態に立ち直ることが出来ず、辛い毎日でした。そういえば、ナッツは少し前からや

せていた様に見えました。ただ、食欲はあったので大丈夫だと思っていたのです。ナッツは人間と違い、体の調子が悪くても言葉で訴えることが出来ません。いつも一緒に側にいて世話をする僕達家族が、ナッツの異変に気付いてあげなければいけなかったのだと悔し涙が出ました。ナッツは僕達にたくさんの楽しい思い出をくれたけど、ナッツはたった一年間の短い命を本当に楽しく過ごすことができたのかと僕は考えました。

この経験から僕は、ペットを飼うということは、その小さな命に対して、最後までしっかりと責任を持つ事だと改めて思いました。ペットが元気な時はもちろん、病気の時も側にいて寄り添ってあげることが大切です。ペットに限らず、同じ地球上で生きる動物達はみんな大切な仲間です。僕達に感情がある様に、動物達にも感情があり、嬉しいな、楽しいな、悲しいな、辛いな、と感じていると思います。人間だけでなく、全ての動物達みんな仲良く思いやりあふれる世界になって欲しいです。



中学校 最優秀賞

「私を変えた夢」

更北中学校 3年 竹内 雪乃 さん

夢とは何でしょう。私は今まで「夢」というものをあまり良く思っていませんでした。今から考えても仕方がない。将来のことなんて全然わからないと、いわば現実的に見ていました。しかし、そんな考えもある出来事によって塗り替えられました。

私はもともと趣味や特技といったものがなく、ただ友達と遊ぶなどして楽しく過ごせばそれで良いを思っていました。ある時、友達と興味本位で映画を見に行くことがありました。「かがみの孤城」という有名な小説が映画化されたものでした。今思えばこれがきっかけになったのでしょうか。想像をはるかに

超える衝撃と感動が私を包みました。映画などで泣いたことのない私が初めて泣きました。

それからというもの私は映画が大好きになり、ファンタジーからSFまで幅広く見るようになりました。映画の良いところは、本と違って音や映像がつくことで見る人を魅了し、より物語が印象的に映るところです。私はその計算され練られた数々の演出に感動しました。

そして、私は映画を見るだけではなく、一つの作品を作るために裏で努力している人たち一人一人の「物語」について考えてみるようになりました。土台となり支えている人達がいるからこそ、素晴らしい作品が作り上げられ、人を感動させることができる。その過程に私はとても惹かれました。そして確信しました。私もこの人達みたいになりたい。人を感動させられるものを作りたい。これが私の思い描く「夢」なのだ。

私はそれから自分の好きなものを見つめ直してみました。映画が好き。本が好き。絵を描くことが好き。友達といる時間が好き。思い返してみるとこれほど好きなものがあり、自分に正直になってみることで新たな発見が生まれ、自信が持てるのだなと感じました。

このように、夢とは人に自信を与え、人生の希望の星となるものです。夢を見ることで人生が輝き成長することができます。ある人は言いました。「夢を見るから人生は輝く」と。またある人は、「才能とは夢を見続ける力のことである。」と。偉人はこれほどまでに夢を大切にし、何かを成しとげるには夢が不可欠であると言っています。私はこの言葉の数々に感動しました。なぜなら、この社会には夢をもった人間であふれ、その人達が夢を諦めなかったからこそ人は進化したのだと気付いたからです。飛行機で空を飛び、潜水艦で深海まで潜り、携帯電話や通信機器で離れている人とコミュニケーションをとることができる。そんな社会も、かつてはありえないと否定されていたものです。しかし、

そんな中で夢を見た人が今の社会を作り、そして今夢を見る人が未来の社会を作りあげるのです。人が夢を叶えるのではなく、夢が人の願いを叶えるのです。

しかし、そんな夢を私はどう叶えればいいのか分かりません。実際現実的に見て何事も簡単に成しとげられるわけではありません。映画が好きだという気持ちだけでは、映画製作に携わることもできません。夢に浮かれて現実を見失うこともあるのです。だからこそ、夢を見るにも現実的に考え、客観視することが必要なのです。また逆のことも言えます。夢を見ることで、現実から離れても実は良いのです。人が何かを言い訳にして現実から逃げることは弱く、決して良いものとはないとされています。しかし、人間関係や社会生活に疲れ、一人で寂しい時は、夢に助けてもらえば良いのです。

ただ、夢を言い訳にするからには、最後まで夢を追い続け、叶えることを諦めてはいけません。現実から逃げても、夢を言い訳にしても、夢は諦めてしまえばそこには何も残りません。だからこそ、私は迷いもがき続けながら、映画製作に携わることを本気で目指していきたいと思います。私は私の夢を叶えることで、人を感動させ、良い社会をつくりあげていきたいと思っています。あの日の私がそうだったように。たった一つの作品が人の心や人生を簡単に変えてしまうのです。全人類 80 億人という中のたった一人でも良い。誰かの心に響く物語を作りあげる。この私の決意が、いずれ誰かを助けるきっかけとなれば良いなと思います。

夢を叶えるのは、私が思っているよりはるかに過酷で、難しいことでしょう。無理だと笑われてしまうかもしれません。夢を見続けるのは、それなりの覚悟と信念が必要になります。そんな中で、初心にかえり、夢に向かって歩み続ける苦しさを逆に楽しみ、自分は今夢に近づいているという自信を持つことが夢を叶えるために必要なことです。夢は、遠ければ遠いほど人は成長できます。人と関わり、変化し、自分を磨くことで新しい自分を見つけ、成長した人達が

夢を叶えることで、社会が豊かになっていくのです。

私は、まだ社会のことはよく分かりませんが、それでも私のできる範囲で色々な人と関わり、関わった上での経験や出来事を、一つの物語として沢山の
人に届けていきたいです。